

国際社会科学団体連盟

International Federation of Social
Science Organizations (IfSSO)

概要

2021年10月

日本学術会議

IFSSOとは

途上国・旧社会主義国の参加に力点を置きながら
先進国をも包含する社会科学の国際学術団体

設立

1973 ユネスコの社会科学部門との連携でISSCが設立した Standing Committee for Cooperation with National Councils (SCCNS) に由来
1979 ISSC からは独立した非政府組織 IFSSO として設立

メンバー

会員：12か国
準会員：1か国

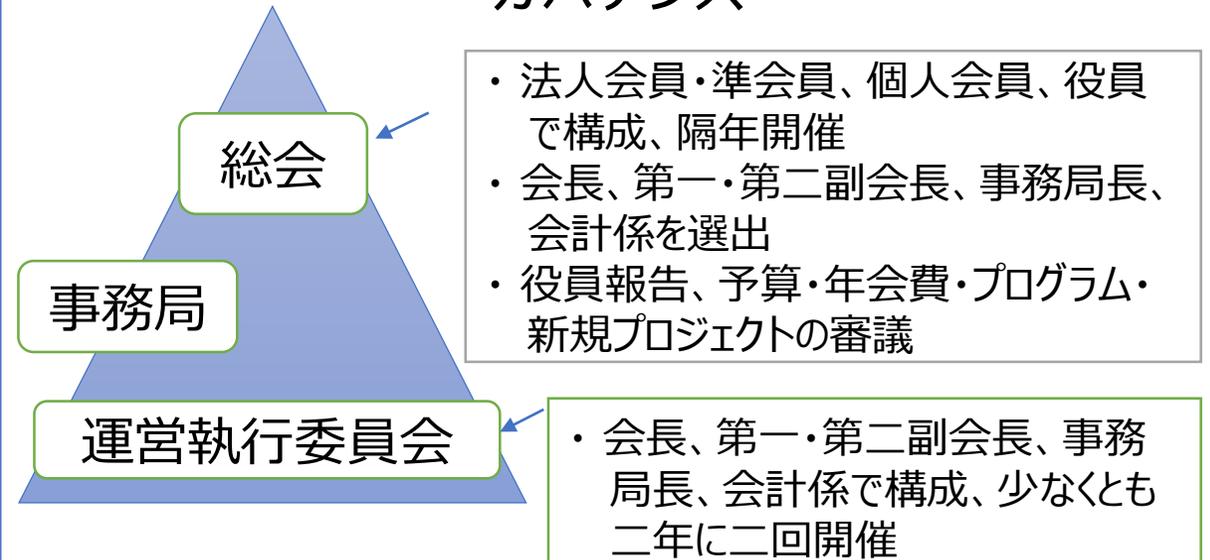
資金

会員団体拠出分担金

目的

文化・社会の違いを超えて、社会科学分野での国際的な学術活動・協力を促進する

ガバナンス



IFSSOの事業と社会への貢献

ビジョン

- 多様な背景を有する国・地域からの参加により、グローバル化する社会が直面する喫緊の課題を分析

ミッション

- 社会科学分野での国際連携を通じて、人類社会に貢献する

定常的な事業

- 隔年で総会を開催
- 途上国・過渡期にある国々における社会科学の発展を支援
- メンバー間での情報交換

主な貢献

- メンバーの多様性（途上国・旧社会主義国・先進国）を活かした今日的な課題への取り組み

例

多文化社会における平和的共存、開発と環境保全、労働移動、国際結婚等、喫緊の課題を分析

日本学術会議・日本の科学者による AASSRECへの貢献

組織運営への人的貢献

- ・ 2019-2021年 上杉富之連携会員：IFSSO 第一副会長

財政的貢献

- ・ 分担金の拠出

学術的貢献

- ・ 2015年 日本人役員のイニシアティブにより、日本で総会を開催
- ・ 各活動への参加
- ・ 現在、上杉連携会員が第一副会長として他の理事会役員とともに、本学術団体の研究活動、成果等を広報するウェブサイト（ブログ）の整備拡充を検討中